

『こうちし食育やるぞねっと』 情報交換会を開催しました



〈開催日〉平成30年2月5日(月) 14:00~16:00 〈参加者〉37名
 〈場所〉総合あんしんセンター3階 大会議室

登録団体	13名
一般参加	11名
高知市職員	4名
高知市食育推進委員	9名

①登録団体の活動紹介

☆株式会社 サニーマート

- ・高知・愛媛県の18店舗で、毎月、食育活動を行っている。
- ・様々なスポーツ教室等を通して、地域の子どもの健康づくりに取り組んでいる。
- ・親子での米作り、エコ教室、おしごと体験等の体験活動を、地元の生産者・メーカー等の協力のもと行っている。
- ・地域密着の取組として、「愛菜の日」「野菜の日」、健康づくりイベント、「防災フェア」にも取り組んでいる。
- ・各料理アドバイザーによる日々のメニュー提案は、商品売るためだけでなく、お客様への食事提案を目的に実施。
- ・ホームページにてSUNNYさんのレシピを掲載。
- ・御座店2階キッチンプラス料理教室では、地元のお店の方や生産者を講師に、様々な教室を開催。
- ・あその店では、毎月、「食育講座」を開催。



☆株式会社 サンブラザ

- ・食育基本法が制定された時から食育に取り組んでいる。
- ・「医食同源」をテーマに、食べることが大事ということの基本としてきた。
- ・土佐市波介小学校にて「お弁当の日」を実施。今後は他の店舗でも徐々に広げていきたい。
- ・塚の原店では、商業高校社会マネジメント科の生徒と協働で、県内産の食材を使った商品開発を行い、文化祭や店舗での販売が実現。大変好評だった。来年度も実施する予定。
- ・緑ヶ丘店では、毎月19日の食育の日を目安に、チラシにてメニューや旬の商品を提案し、店舗で、販売・レシピ配布等を実施。
- ・食育通信を店頭で配布。
- ・高知大学出身の従業員の提案により、店舗にて防災に関する情報を発信。



②つながろう！食育について情報交換しよう！ テーマ『若い世代をいかに巻き込むか！』



国の第3次食育推進基本計画における重点課題のひとつに「若い世代（特に20・30歳代）を中心とした食育の推進」があります。朝食欠食や栄養の偏りなど、他の世代より多くの課題を抱えている実態があり、高知市でも、若い世代は朝食欠食率が高い等の課題があります。
 若い世代が、自分のため、また次世代のために「食」を見つめ直すきっかけづくりとして、情報交換し、様々なご意見をいただきました。

- 20・30歳代の若い世代が食べないというのは、小さい頃から「食べる必要性」や「食べることで何か」ということを教えられているかということが関係しているのではないかと。
- 食に関する話を、小さい子どもを対象にする場合でも、一緒にいる保護者にも意識を向けて話をするようにしている。また、子どもから親へ伝えることで、親世代にも「気づき」になるのではないかと。
- 自分たちが若い時の食生活も良いものではなかったが、最も違うのはコンビニがなかったということ。また、今はあまり人と集まらず個人で食事をする時代になり、食に対する考え方が変わったように思う。
- 情報社会の中で、SNSを活用した情報発信をしていくことが大事。
- 子どもの時から家でやっていない、今の親世代を育てたのは自分たち。自分の子どもに何もさせずに大人にさせてしまった。
- 働き盛りの方、食生活を今一度見直していただきたい。
- 20年前からずっと「食育」ということを考えてきたけど、結局、一人では何も出来ない。
- 今日の会で、食育に関して皆が力を合わせてやっていけていることがすごく嬉しく思った。
- 今後、大学生と協働で何かできたらと思った。



こうちし食育やるぞねっと登録団体

- ①高知市食生活改善推進協議会
- ②株式会社 高南メディカル
- ③公益社団法人 高知県栄養士会
- ④高知市食品衛生協会
- ⑤株式会社 サンシャインチェーン本部
- ⑥株式会社 サニーマート
- ⑦公益財団法人 高知県魚さい加工公社
- ⑧株式会社 サンブラザ
- ⑨鍋焼きラーメン専門店 あきちゃん
- ⑩公益社団法人 全日本司厨士協会
瀬戸内支部 (※情報交換会后、登録)